

加盟団体責任者殿
調布市剣道連盟会員各位

令和3年9月12日
調布市剣道連盟

全日本剣道連盟のガイドライン改訂を受けて ～所属団体での稽古計画の確認のお願い～

昨年、全日本剣道連盟により『対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』(以下、『旧全剣連ガイドライン』という)が制定されましたが、本年8月にこれが改訂され、新たに『対人稽古に関する感染予防ガイドライン』(以下、『新全剣連ガイドライン』という)が策定されました。大きな変更点として、旧全剣連ガイドラインでは、各団体の稽古計画で文部科学省の『学校の新しい生活様式』(令和2年5月22日)の趣旨の計画への反映が定められておりましたが、新全剣連ガイドラインではこの記述がなくなり、そのかわり、会員に生徒・学生がいる場合の稽古計画の策定にあたっては、文部科学省『新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更等について(周知)』(令和3年5月28日)の趣旨を尊重することが定められました。

これを受け、調布市剣道連盟でも、新全剣連ガイドラインに基づいた『調布市剣道連盟 稽古に関する感染拡大予防ガイドライン』(以下、『新ガイドライン』という)を策定しました。なお、昨年、各団体におかれましては、調布市剣道連盟で策定した『調布市剣道連盟 稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』(以下、『旧ガイドライン』という)に基づき、稽古計画等を策定の上事務局に提出いただきましたが、稽古計画のうち、旧ガイドラインに基づいた計画にかかる内容については、新ガイドラインを基準にした内容に修正いただく必要があります。

つきましては、各団体で策定した稽古計画を改めて確認の上、修正が必要な場合は、調布市剣道連盟事務局へ修正後の計画を報告いただきたく存じます。

お手数をおかけしますが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

<添付資料>

- ・ 調布市剣道連盟 稽古に関する感染拡大予防ガイドライン

以上

調布市剣道連盟 稽古に関する感染拡大予防ガイドライン

はじめに

全日本剣道連盟から『対人稽古に関する感染予防ガイドライン』(以下、『全剣連新ガイドライン』といいます)が公表されたことを受け、調布市剣道連盟においても従前のガイドラインを改訂し『調布市剣道連盟 稽古に関する感染拡大予防ガイドライン』(以下、『当ガイドライン』といいます)を策定しました。今後は、調布市剣道連盟として、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発出されたことのみにより一律の稽古自粛を求めることはありません(注1)が、稽古に際しては、全剣連新ガイドラインで示された感染予防措置を徹底いただきたく存じます。なお、地域の感染状況、特に所属会員の学校の状況に留意し、感染リスクが高いと判断される場合は、各団体責任者の判断にて、随時稽古の停止を決定いただければと存じます。

ガイドライン

- ①各団体は、新全剣連ガイドライン及び当ガイドラインに基づき稽古計画を策定し、稽古計画を調布市剣道連盟事務局へ報告の上、計画に従って稽古を実施すること。(注2)
- ②各団体の稽古の実施にあたっては、参加者間の距離を十分確保することで所謂三密(密閉、密集、密接)を回避すること。
- ③上記②が満たされない場合、各団体の責任者は、稽古参加人数の制限等の措置を講じること。
- ④他団体等からの出稽古の受け入れも、上記②を満たす場合に限る。出稽古受け入れにより上記②が満たされない場合、各団体の責任者は、出稽古人数の制限ないしは出稽古の受け入れを認めない等の措置を講じること。なお、出稽古の受け入れに際し、各団体の責任者は、他団体からの出稽古者等に、検温、手指消毒、連絡先の確認その他団体の規則の遵守を徹底させること。
- ⑤各団体の責任者は、稽古参加者等が新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに調布市剣道連盟事務局へ報告すること。また、陽性が判明した時点からさかのぼって一週間以内で同じ稽古に参加していた者(見学者を含む)全員のPCR検査あるいは抗原検査の最終的な結果を調布市剣道連盟事務局へ報告すること。(注3)

(注1)市内の感染状況を勘案し、剣道連盟会長の判断で、一律の稽古自粛を要請する場合もある。

(注2)既に策定した稽古計画を改めて確認すること。確認の結果、計画を修正する必要がある場合は、修正された計画を調布市剣道連盟事務局へ報告し、修正後の計画に従って稽古を実施すること。修正する必要がない場合は、事務局への報告は不要である。

(注3)調布市剣道連盟事務局にて、上部団体と連携し、全剣連ホームページの「剣道における新型コロナウイルス感染症報告フォーム(<https://www.kendo.or.jp/information/20201225/>)」に、感染者の詳細報告及び同じ稽古に参加者していた者全員の最終的な検査結果を報告する。